

GRASS ROOTSに 名を刻め !

— RESPECTから始める冒険 —

その75 (R05.10.27)

～ 全校朝礼「150周年」 ～

最初に、「玉村町歴史資料館キャラクター」を紹介します。みなさん、知っていますか。玉村宿の町娘「おたまちゃん」と例幣使「たつながさま」です。もうひとり、紹介しますね。はにわの「しおがおさん」です。

3人と一緒に、芝根小の歴史について、学びましょう。まずは、学校が始まる前の時代にタイムトラベルしましょう。

この人はわかりますか。そうです。上毛カルタでも有名ですね。(中略)

この少し後に、玉村町でも、斎藤宜長や斎藤宜義が和算家として、板井村で弟子に和算を教えていました。今でも、玉村八幡宮に算額が置いてあるそうですよ。

上陽の樋越村にある嚮義堂です。1800年代から学ぶ場所をつくり、子供たちに教えていました。1872年に小学校設立により、その役割を終えたそうです。

1872年に学制を制定した後、1873年10月15日に、五料小が開校しました。これが、芝根小の始まりです。子供は35名でした。

沼之上小に名前を変更した後、箱石村・小泉村・下之宮村の谷川小、川井村・飯倉村の川井小に分離しました。玉村には10の小学校があったそうです。

玉村地区と芝根地区の学校は合併して、1885年2月10日に、那波第一小になりました。

その後、五料尋常小、芝根尋常小、そして、1903年3月27日に、芝根尋常高等小に名前が変わりました。

これは、わかりますか。そうです。校歌でも歌われている「啓智の源」、「成徳の基」です。

これは、1904年5月に建てられた物です。その後、今の場所に移動しました。

1941年4月1日には芝根国民学校、1947年4月1日には芝根村立芝根小、1955年4月20日には玉村町立芝根小に名前が変わりました。

1943年11月28日には校歌がつけられました。

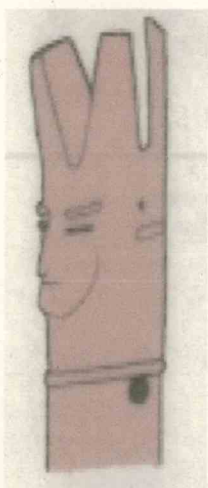
1957年3月に、新校舎が完成しました。

4コマ漫画は、私「塩顔さん」が紹介しますよ。1コマ目から。

①

「これは、芝根小ですな。」

「明治6年に五料小として開校し、以前の校舎は日光例幣使道沿いにあったのかあ〜。」



②

「あれは、何？」

「屋上に行ったら麦畑にミステリーサークル発見！！」

「もしかして、クロップマーク？」

「この場所に古墳があったことを示しているのだ。学校のまわりには、たくさん、古墳があったのですな。」

③

「実は私が守っていた古墳は、現在の校舎のすぐ近くなんです。」

「それに、古墳の上に校舎が建っているんです。」

「もしかしたら、私のご主人の親しい方の古墳かもしれませんな。」

④

「おっ、これは芝根小の目標ですな。」

「ふむ、ふむ、ふむ。知徳体のバランスですな。」

「私たちが埴輪も、結構、バランスのよさが必要なんですよ。」

これは、6年生が書いた「芝根小の学校自慢」です。一人一人のコメントがすてきです。

0から始まった芝根小は、いろいろな歴史を刻み、150年目を迎えました。伝統を引き継ぎ、芝根小150年目のメンバーであるみなさんが、どのような歴史を刻むのか、残りの5ヶ月も楽しみにしています。

今回は、玉村町歴史資料館のキャラクターになりきって、6年生の児童が紹介してくれました。協力してくれたみなさん、ありがとうございました。